



## 広範囲型2号消火栓について

平成25年3月27日に消防法施工令の一部が改正され、新易操作性消火栓(広範囲型2号消火栓)が追加となり、平成25年10月1日より施行されております。今後の普及が見込まれるために、その技術基準を従来の屋内消火栓設備と比較して下表に示します。

この広範囲型2号消火栓は、2号消火栓と同様に一人操作が可能な易操作性を持ち、かつ、1号消火栓と同じ警戒半径(25m)で、また、従来の1号消火栓よりポンプ容量を低減できます。

但し、2号消火栓であるため、設置可能な防火対象物は、工場・倉庫、指定可燃物の貯蔵・取扱い施設を除く、となっています。

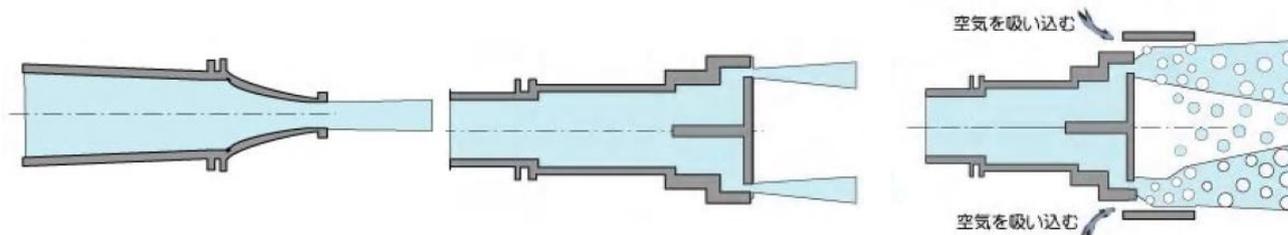
項目		区分	1号消火栓	易操作性1号消火栓	2号消火栓	広範囲型2号消火栓
設置対象防火対象物			屋内消火栓設置対象防火対象物		屋内消火栓設置対象防火対象物 (工場・倉庫・指定可燃物の貯蔵・取扱い施設を除く)	
消火栓箱	操作性		2人以上で操作 (全ホースを引き出さないと 利用できない)		1人操作可能 (ホースを一部だけ引き出しても放水可能)	
	警戒半径		25m		15m	25m
	放水圧力		0.17MPa~0.7MPa		0.25MPa~0.7MPa	0.17MPa~0.7MPa
	放水量		130 L/min以上		60 L/min以上	80 L/min以上
	ノズルの放水形状		規定なし	棒状と噴霧の切替	棒状又は棒状と噴霧の切替	棒状と噴霧の切替 ※(アスピレートノズル)
	ノズルの機能		規定なし	開閉装置付		
	ホース		平ホース 呼称 40mm 15m×2本	保形ホース 呼称 30mm 30m×1本	保形ホース 呼称 25mm 20m×1本	保形ホース 呼称 25mm 30m×1本
消火栓箱外観						
ポンプ	ポンプ吐出能力		150 L/min×消火栓設置個数 (各階中の最大設置個数) 最大2		70 L/min×消火栓設置個数 (各階中の最大設置個数) 最大2	90 L/min×消火栓設置個数 (各階中の最大設置個数) 最大2
	ポンプ起動方式		ポンプ直近の制御盤で起動及び停止操作ができ、かつ、消火栓からの遠隔操作でも起動できること。	ポンプ直近の制御盤で起動及び停止操作ができ、かつ、開閉弁の開放又はホースの延長操作等と連動して起動できること。		
その他	主管立上り管		50A以上		32A以上	40A以上
	水源水量		2.6m <sup>3</sup> ×消火栓設置個数 (各階中の最大設置個数) 最大2		1.2m <sup>3</sup> ×消火栓設置個数 (各階中の最大設置個数) 最大2	1.6m <sup>3</sup> ×消火栓設置個数 (各階中の最大設置個数) 最大2

今後、新築時だけでなく、多くの建物に設置されている1号消火栓から、この広範囲型2号消火栓への改修も促進され、火災時に、よりの確に活用されることが期待されます。尚、改修時には所轄の消防署との打合せが必要です。

※（アスピレートノズル）

アスピレートノズルは、ノズル元に空気穴があり、ノズル先に空気と水とを混ぜ合わせるスリーブが装着されていることから、放水時に早い段階で水と空気が混ざり合い、飛沫粒子が微小で中空になりづらい特徴がある。

アスピレート放水は、棒状と噴霧状の中間的な放水形状となり、火元を効果的に包含して消火することが可能である。



棒状ノズル

噴霧切替式ノズル

アスピレートノズル

アスピレートノズルの形状

